

# 2021年3月期 第2四半期決算説明会

2021年11月20日  
株式会社オプティム  
代表取締役社長 菅谷俊二

1. 会社概要
2. 2021年3月期 第2四半期決算レビュー
3. 2021年3月期 第2四半期主要活動実績
4. 2021年3月期 業績予想

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

# 会社概要

---

- 商号：株式会社オプティム（東京証券取引所市場第一部：3694）
- 設立：2000年
- オフィス：
  - OPTiM TOKYO（東京本社）
  - OPTiM SAGA（佐賀本店：佐賀大学内）
  - OPTiM FUKUOKA
  - OPTiM KOBE
- 代表者：菅谷俊二（佐賀大学農学部招聘教授）
- 総スタッフ数：593名  
（2020年5月現在：派遣・契約・バイト含む）
  - 平均年齢：32.8歳
- 主要株主
  - 菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社 等



東京本社



佐賀本店

## ネットを空気に変える

株式会社オプティム 代表取締役社長

菅谷 俊二



当社は、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプロダクトの開発に尽力しております。

**知財戦略に基づく豊富な技術力**、及び、**事業創造力**を背景に、常に革新的なサービスを提供し新しい市場を開拓してきました。また、**AI・IoT・Big Dataのマーケットリーダー**として、各産業のトッププレイヤーと強固な**ビジネスディベロップメント**を推進しております。**国内市場ではシェアNo1のサービス**を擁し、**豊富なライセンス収益**を基盤としたビジネスモデルを確立しております。

特徴（強み）	内容
1. 豊富な技術的発想力	国内初・世界初を実現する特許に基づいた機能・製品・サービス・ビジネスモデル開発（当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位 <sup>※1</sup> を受賞）
2. 高度な技術力	得たライセンス収益を次世代IT技術分野に研究開発投資を行い獲得した、AI・IoT・Cloud・Security・Robotics分野での高い技術力により、新しい着想を実現
3. サービス企画・開発・運用力	新しい着想で実現した製品をパッケージサービスとして汎用化する企画力。サービスを顧客のニーズに合致した機能、価格、サービスモデルを企画、設計し、開発、運用を行う能力
4. 強固なライセンス収益	国内市場シェアNo1のMDMサービスである「Optimal Biz」、国内最大数のユーザ数を持つ「Optimal Remote」を始めとしたサブスクリプションビジネス（料金を支払うことにより一定期間サービスを受けられるモデル）による強固なライセンス収益
5. コンサルティング力	パートナー企業の市場環境を理解し、パートナー企業と共にオプティムのテクノロジーを活用したイノベーション、新サービスを創造する高いコンサルティング能力
6. 事業創造力	新しい製品・サービスを各産業リーダ企業、通信キャリア、プリンタメーカーなど、多くのパートナーと提携し事業化、あるいは事業を大規模に展開する事業創造力

※1 出典：2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査

※2 出典：ミック経済研究所 2019年9月発行、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より、2018年度実績値調査結果のうち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計し、合計19部門で2018年度シェアNo.1の評価を獲得。富士キメラ総研 「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」よりモバイルセキュリティ管理ツール市場における市場占有率、「数量」「金額」の割合。テクノ・システム・リサーチ 「2018-2019年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」よりモバイル管理市場 2018年実績。

- **豊富な知的財産**を保有
  - 当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位を受賞（2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査）
- **経済産業省特許庁**から、平成30年4月に「**知財功労賞**」を授与
- 新規事業分野への参入、事業の多角化、世界展開等、あらゆる局面で知財の有効活用を意識したイノベーション活動を展開
- ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許が、令和元年度九州地方発明表彰において、「**文部科学大臣賞**」を受賞



（ご参考：知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞のポイントより抜粋）  
オプティムは、常に新しい技術を生み出し、取り込みながら研究開発を行い、その成果を活用した製品・サービス、さらにはビジネスモデルで取得した特許権が差別化を生み出すことにより、事業の競争優位性を確保している。

皆さんの身近なところでも、当社のテクノロジーが使われています。  
AIが自動でインターネット接続を行います





スマートフォンやパソコンをお使いのお客様は、  
コールセンターから、遠隔でサポートを受けることができます



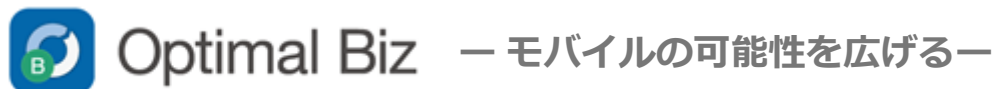
利用者数  
国内No.1

au = SoftBank

FLET'S 光

フレッツ 光

BBIQ SBI証券



## Optimal Bizは、スマートフォンやタブレットの ビジネス活用における幅広い課題を解決



### 紛失・盗難、情報漏えい対策

- ・ リモートロック
- ・ ローカルロック
- ・ リモートワイプ
- ・ ローカルワイプ
- ・ 位置情報取得



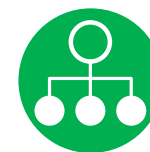
### セキュリティ設定

- ・ ウイルス対策設定
- ・ スクリーンロックポリシー強制
- ・ Wi-Fiフィルタリング
- ・ ゾーンに応じたアプリケーションの禁止



### 端末設定の効率化

- ・ アプリケーションの配信
- ・ ドキュメントの配信
- ・ クライアント証明書の配信
- ・ Wi-Fi設定
- ・ 端末の暗号化設定



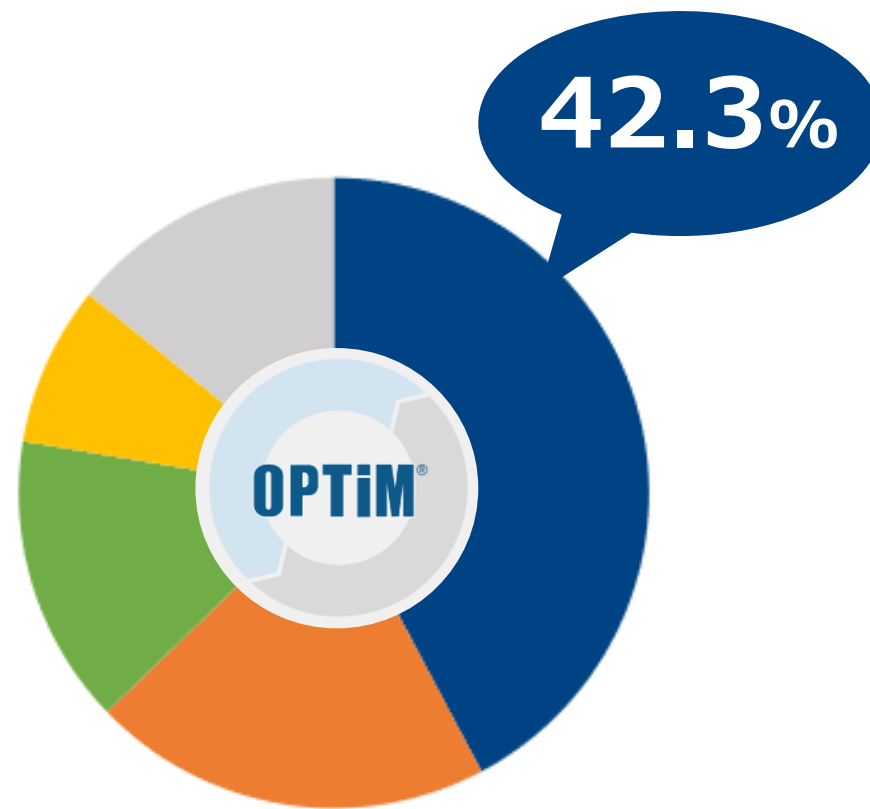
### 資産管理・端末監視



国内シェア **No.1**<sup>※1</sup>

**180,000社**以上<sup>※2</sup>の

圧倒的な導入実績



2019年度

※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」SaaS・ASP型MDM出荷ID数

※2 2019年6月25日、当社集計

# Optimal Biz : 国内で最も評価されているMDM

国内外の著名な調査会社4社が発刊した調査レポートにて、  
合計**35部門**で**No.1**の評価を獲得しています



出典： IDC Japan  
テクノ・システム・リサーチ  
富士キメラ総研  
ミック経済研究所

「国内システム／サービス管理ソフトウェア市場シェア、2018年：SaaSとITオペレーション分析の本格化」（JPJ44569319）  
「2019-2020年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」、2020年1月発行、II.市場動向編 2.モバイル管理市場  
「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧《市場編》」、2019年10月発行、  
2018年度国内MDM・EMM市場<数量>・2018年度国内MDM・EMM市場<金額>。  
「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より、2019年9月発行、2018年度実績値調査結果のうち、  
「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計

# ますます広がるスマートフォン、タブレットの業務での活用



①GIGAスクール構想



②遠隔医療サービス



③テレワーク



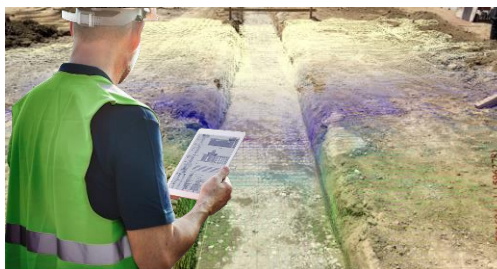
④コロナ対策サービス



⑤店舗の混雑状況確認



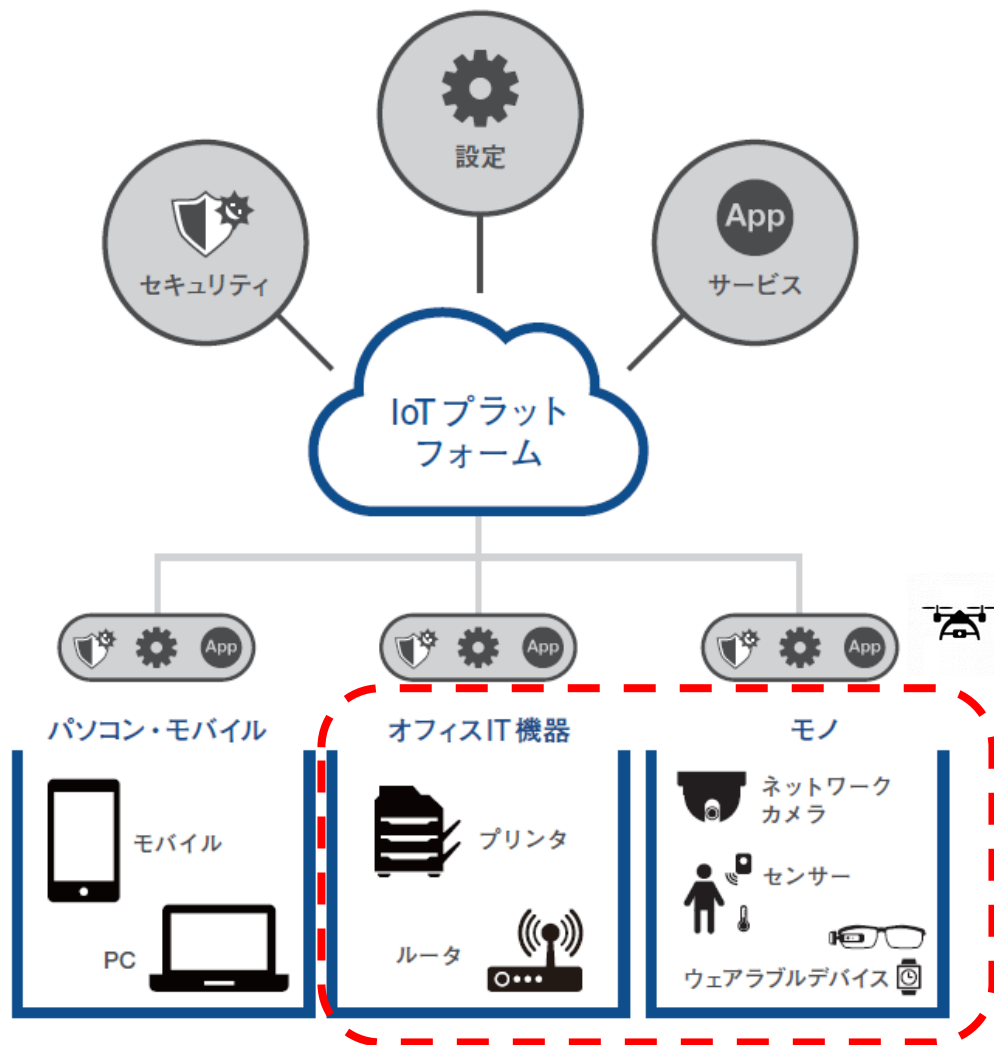
⑥キャッシュレス決済



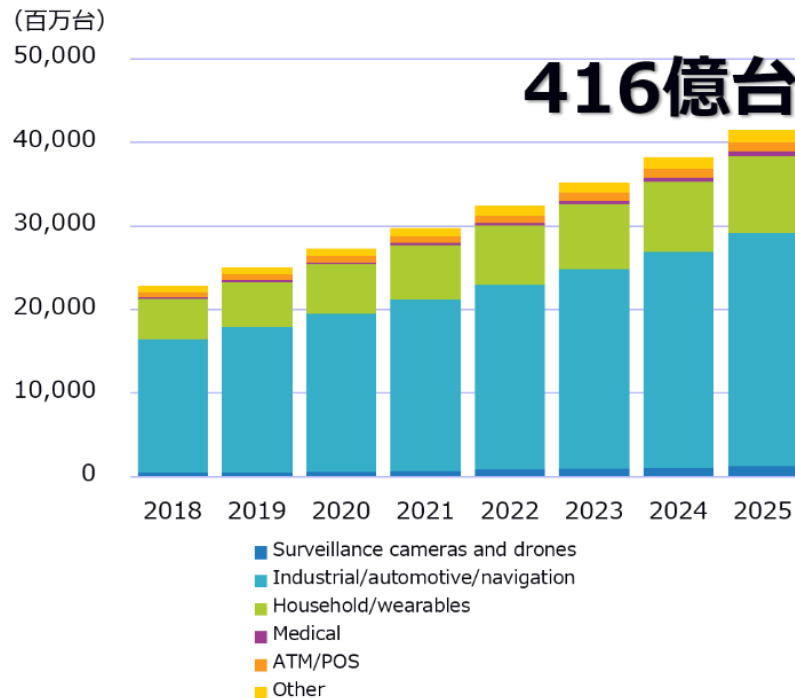
⑦建設・土木・農業などでの活用



⑧業務遠隔サポート



世界 IoT機器インストールベース予測



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム / Data as a Service に関わるプレイヤー分析: IoT 関連事業者を中心に

<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ45371219>

**IoT（モノのインターネット）が急速に拡大中**

# IoTプラットフォームからAI・IoTプラットフォームの提供

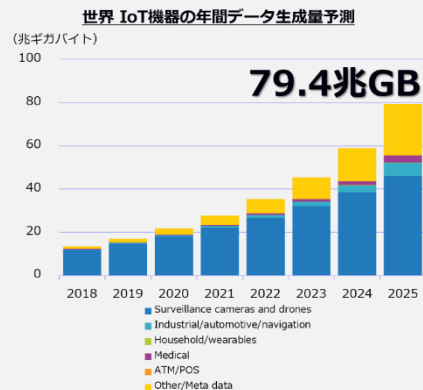
416億台のIoTデバイスが約80ZBのデータを生成、IDCが2025年を予測  
(ZB=1GBの約1兆倍)



79.4兆GB

有益な情報を導くためにAI利用が不可欠に

IoT (モノのインターネット) の普及に伴う爆発的なデータ量の増加



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム/ Data as a Service に関わるプレイヤー分析: IoT 関連事業者を中心に <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJP45371219>

# AI(人工知能) のパッケージサービス提供

**OPTiM AI Camera Enterprise**   **OPTiM AI Camera**



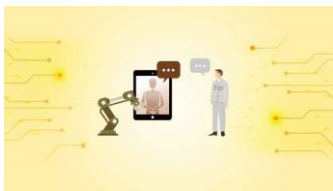
**OPTiM AI Camera Mobile**



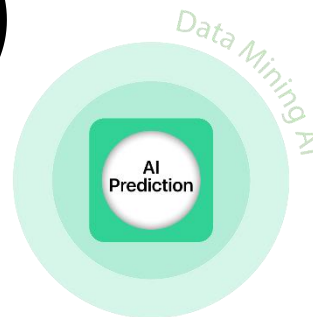
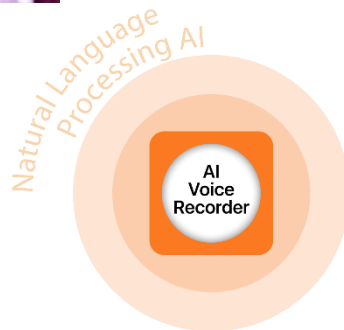
**OPTiM AI Voice Recorder**



**OPTiM AI Guide**



**Optimal Second Sight**



**OPTiM AI Research**



**OPTiM AI Store**



**OPTiM AI Signage**



**OPTiM AI Marker**



**OPTiM AI Creator**





## オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

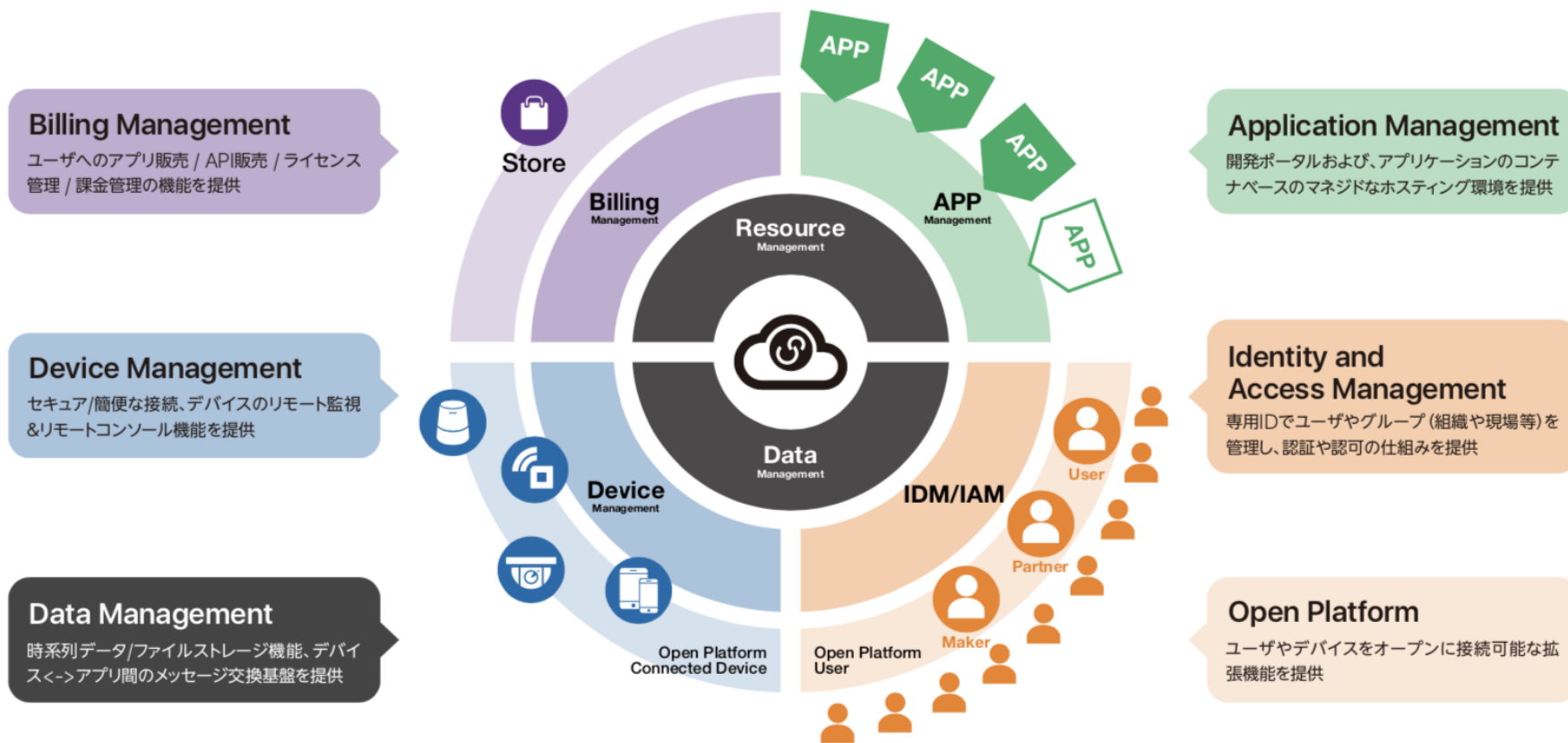
### OPTiM<sup>®</sup> AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位<sup>\*1</sup>を獲得

## プラットフォームのためのプラットフォーム

AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備





各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる  
「〇〇×IT」により  
全ての産業を第4次産業革命型産業へと  
再発明してまいります

# AI/IoTプラットフォームを活用してあらゆる産業を変革する企業に (OO×ITビジョンに基づく提携、合併戦略の実行)

## 農業

## 建設・土木

**農業**: SAGA UNIVERSITY 国立大学法人 佐賀大学, OPTiM® AGRI MICHINOKU, 佐賀県, みちのく銀行

**建設・土木**: KOMATSU LANDLOG, 松尾建設株式会社

## エネルギー

## 金融

**エネルギー**: 九州電力 (ずっと先まで、明るくしたい。)

**金融**: 佐賀銀行, みちのく銀行, OPTiM® 佐賀銀行

## 小売

## 製造・ロボット

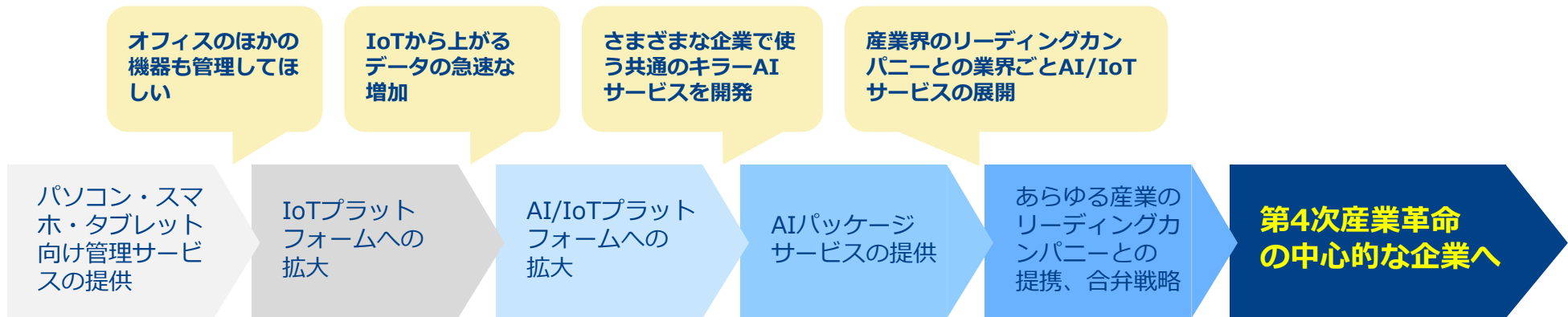
**小売**: モノタロウ (AIストア powered by OPTiM), Electrics 蔦屋家電 (TSUTAYA ELECTRICS)

**製造・ロボット**: Kawasaki (Powering your potential)

## 医療

**医療**: ディビューラメディカル ソリューションズ, sysmex, Medicaroid, St. Luke's International Hospital, 佐賀大学医学部附属病院, ソラスト (あしたを元気に)

# PC・モバイル管理からAI・IoTプラットフォームフォーマーまでの経緯



400億台

## IoTデバイス出荷台数

200億台

170.7 205.1 241.0

274.9 307.1

348.7 394.0

447.9

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

予測値

出典 総務省令和元年版 情報通信白書 第1部 第2節 デジタル経済を支えるICTの動向、(2) IoTデバイスの急速な普及、図表1-2-1-3 世界のIoTデバイス数の推移及び予測より。: <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd112120.html>

# 第4次産業革命の中心的企业になる

# 2021年3月期 第2四半期決算レビュー

.....

創業来21期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

第4次産業革命の中心的企業になるべく過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりました。当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けております

(連結経営成績 単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結実績	2021年3月期 第2四半期 連結実績	実績 前年比	2021年3月期 通期連結 業績予想
売上高	2,935	3,051	103.9%	7,407~8,080
営業利益	18	325	1,772.2%	712~1,526
経常利益	11	514	4,395.4%	802~1,616
親会社株主に帰属する 当期純利益	△32	321	—	501~1,028

当初計画より  
変更なし



## ■業績の進捗状況および通期見通し

### 【売上】

- コロナ禍の影響を受け、一部の新規ライセンス・カスタマイズ<sup>(※)</sup>プロジェクトの遅延から売上成長率が鈍化しております。ただし、下半期に向け回復基調にあります。
- コロナ禍による企業や文教分野などのDX推進の影響を受け、Optimal Biz法人ライセンス売上を中心に、前年同期比を上回るペースで成長しております。  
(サブスクリプションライセンス売上比率、全体売上の約8割)
- 従いまして、業績予想に変更はございません。

### 【利益】

- 営業利益と経常利益に差がでておりますが、これらは国からの補助金等の確定が当期にずれ込んだこと、および、投資事業組合運用益に起因しております。
- 今期からプロダクトの収益性が増加したことによりOPTiM Cloud IoT OSを中心としたソフトウェア資産計上を開始しており、利益の増加に寄与しております。

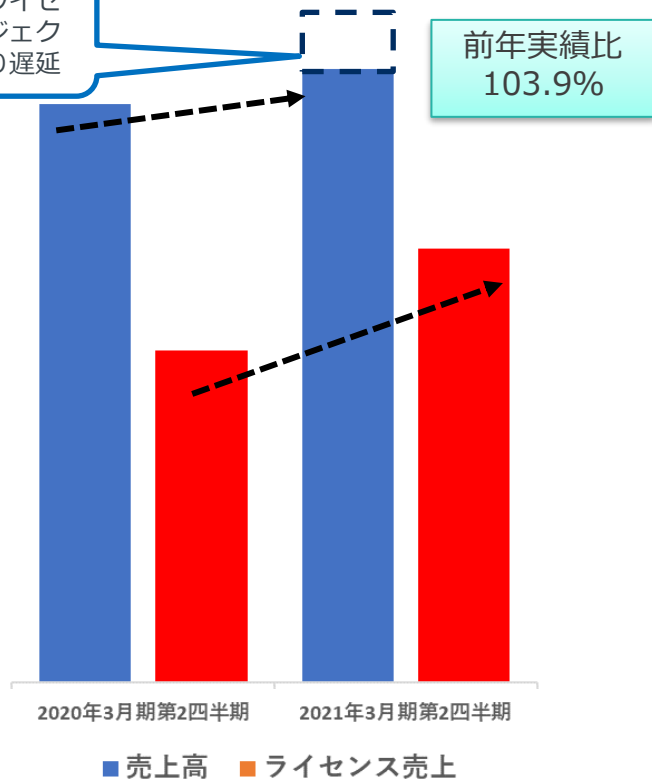
上記により、第2四半期の進捗状況として、売上・利益ともに計画どおりとなっております。

なお、新型コロナウイルスによる当社グループへの影響範囲は把握できていると考えておりますが、想定を超えて新たな影響が発生した場合には速やかに開示を行います。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示を行います。

※ ライセンス・カスタマイズ…当社研究開発部分をライセンスとし、それをもとにしたカスタマイズ開発のこと。将来のライセンス発行につながる開発となります。

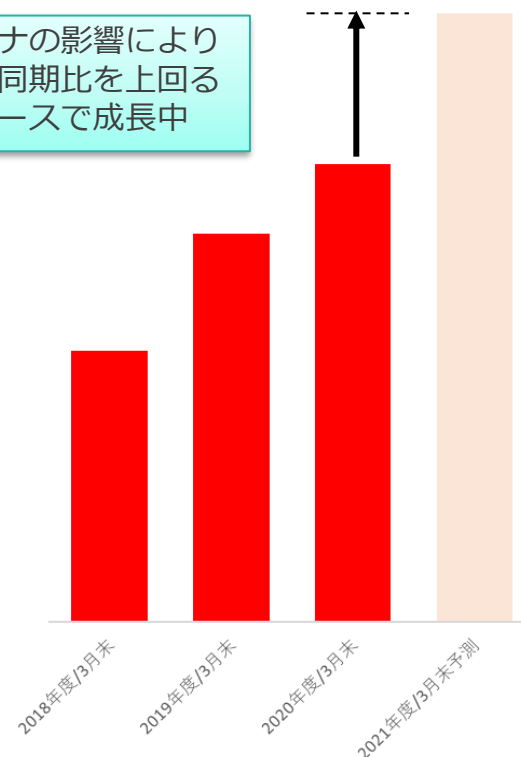
# 第二四半期売上に関する補足

新規サービスの一部のライセンス・カスタムプロジェクトがコロナの影響により遅延



売上前年累積比較

コロナの影響により前年同期比を上回るペースで成長中



Optimal Biz法人ライセンス売上推移

- コロナ禍の影響を受け、一部の新規ライセンス・カスタマイズプロジェクトの遅延から売上成長率が鈍化。ただし、下半期に向け回復基調
- コロナ禍による企業や文教分野などのDX推進の影響を受け、Optimal Biz法人ライセンス売上を中心に、前年同期比を上回るペースで成長

## Environment (環境)

### 農業xIT : ピンポイント農薬散布テクノロジー

• AIによる画像解析を農作物に対して行い、不必要な農薬を散布せず減農薬栽培を実現

### 農業xIT : スマートアグリフードプロジェクト (スマート米)

• ピンポイント農薬散布・施肥技術テクノロジーなどをはじめとした AI・IoT・Roboticsを活用することで、消費者が安心して食べることができるお米や野菜を作る、未来志向の農業プロジェクト



## Social (社会)

### 医療xIT : オンライン診療サービス

• 地域ごとの医療格差、仕事や育児、身体的事情などでの来院機会損失の課題に対して、スマホやタブレットで遠隔診療を行うことで継続的に受診でき、予防医療にも繋がり、生活習慣病有病者や介護者を減らすことが可能。また医師にとっては、往診における時間的・経済的負担を削減

### 当社サービスの無償提供

• 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨、新型コロナウイルス感染症等の天災発生時、社会貢献観点から関連するサービスを無償提供



## Governance (企業統治)

### 経営諮問委員会設置

• 現在当社が取り組んでいる農業・建設・医療の各分野における第一人者の方々を委員（エグゼクティブアドバイザー）として招聘。経験に裏打ちされた知見を基にした各産業分野への関与のみならず、企業価値の最大化を図るためのコーポレートガバナンス強化観点に対しても貴重なアドバイスをいただき、経営の透明性・健全性確保を図っている



**奥原 正明**  
おくはら まさあき  
元 農林水産事務次官



**野路 國夫**  
のじくにお  
株式会社小松製作所  
特別顧問



**林 正好**  
はやし まさよし  
シスメックス株式会社  
特別顧問

# 2021年3月期 業績予想

---

## 〇〇×IT戦略に対する投資計画

おおむね順調に進捗  
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得  
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

### 研究開発投資推移イメージ



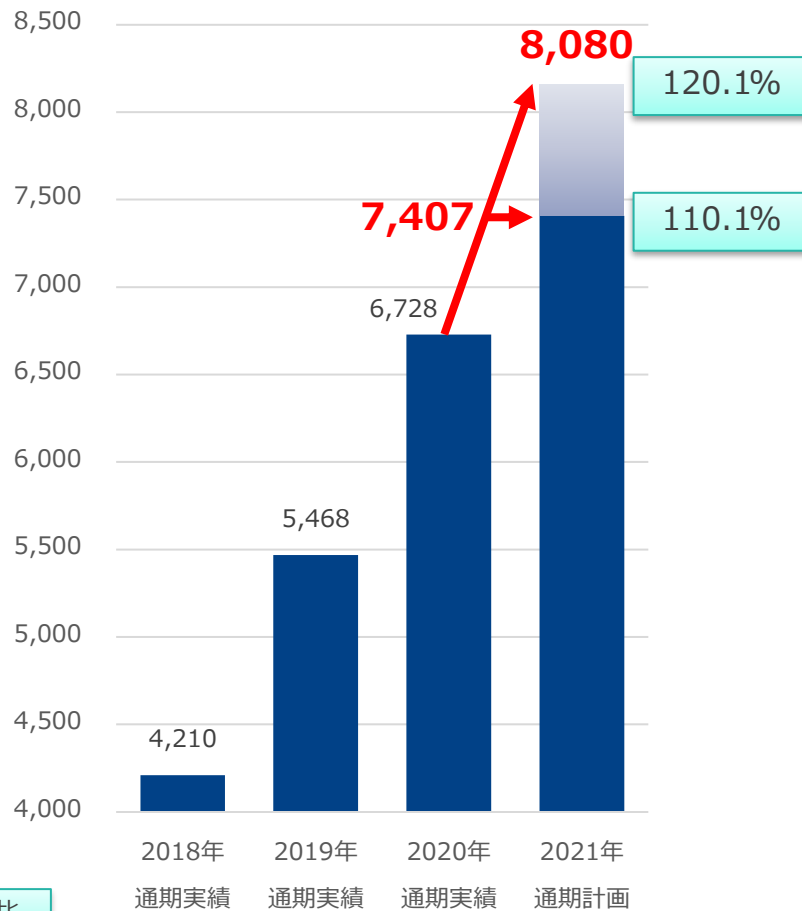
2021年3月期の業績は、  
創業来**21期連続**となる  
過去**最高売上高**を目指します。

2021年3月期  
80.80億円売上～74.07億円  
(前年比120.1%～110.1%)  
の範囲で計画

当社サービス全般については、順調な成長が見込まれており、120%程度の売上成長を計画しております。

一方で現在、長期にわたる全世界規模での新型コロナウイルスの経済的影響が見込まれており、当社においても現時点では顕在化されていないリスクが存在している可能性があります。そのリスクに対する対応として最大で10%程度の売上低減を踏まえたレンジでの計画値を設定しております。

## 売上予想



前年比

(単位：百万円)

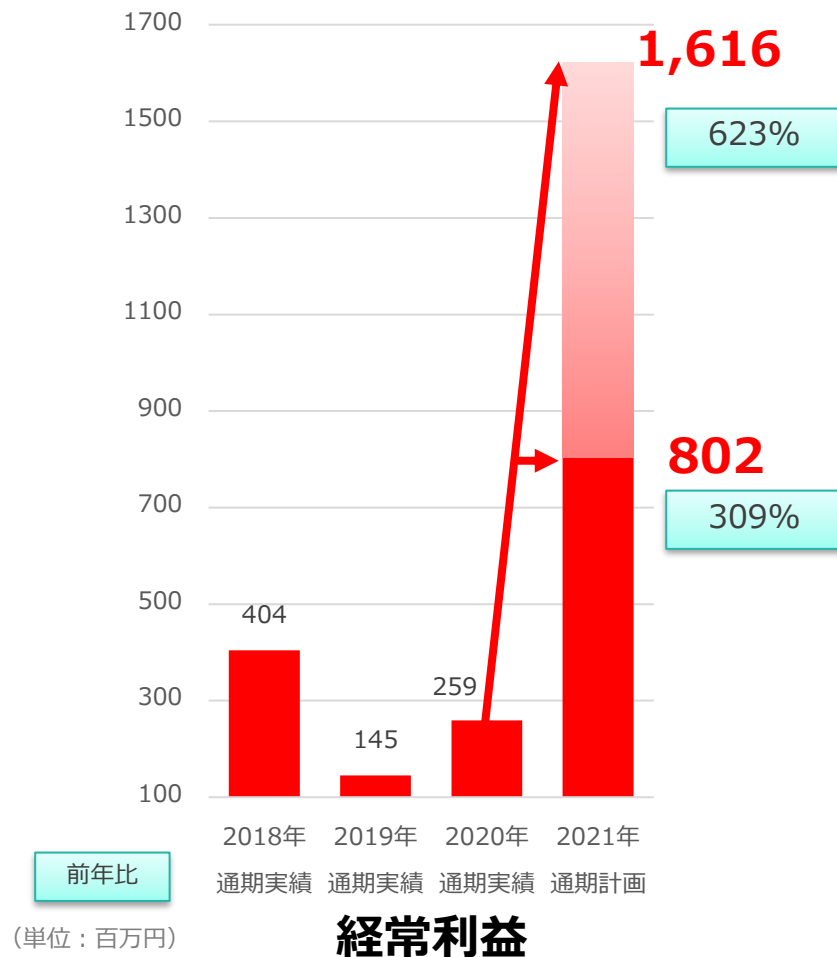
2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

2021年3月期の業績は  
過去**最高利益**を目指します

第4次産業革命の中心的企業になるべく  
過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に  
積極的な投資を行ってまいりました。  
当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けており、  
経常利益率20%程度を計画しております。  
一方で、特に新規サービスにおいては、新型コロナウイルスの影響が完全には予測できない状況であること、そのような中でも継続的な研究開発投資を当期も継続させることを計画しており、当期も前期に引き続き、レンジ形式による利益予想を採用します

2021年3月期  
経常利益**16.16億円～8.02億円**  
(**経常利益率20%～10%**)  
(**前年比623%～309%**)  
の範囲で計画

過去3カ年実績利益推移、  
及び、2021年3月期予想



2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

第4次産業革命の中心的企業になるべく過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりました。当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けております。

売上については、創業来**21期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益についても、過去**最高利益**を目指します



# **2021年3月期 第2四半期主要活動実績**

.....

# テレワーク支援サービス 「Optimal Biz Telework」を大幅アップデート

～マネジメントサポートや隠れ残業、在宅鬱などの在宅勤務問題をまとめて見える化し解決～

テレワーク環境下でのマネジメントを支援

## Optimal Biz Telework

New Normal Work Style

コミュニケーションサポート    業務サポート    生産性向上サポート

Optimal Biz Teleworkが、デジタルな情報伝達/管理を支援し  
真にクリエイティブなマネジメント環境を実現します

Optimal Biz Teleworkは単体でもご導入いただけます。  
Optimal Bizと併せて導入いただくことでさらに様々な機能が利用可能となります。

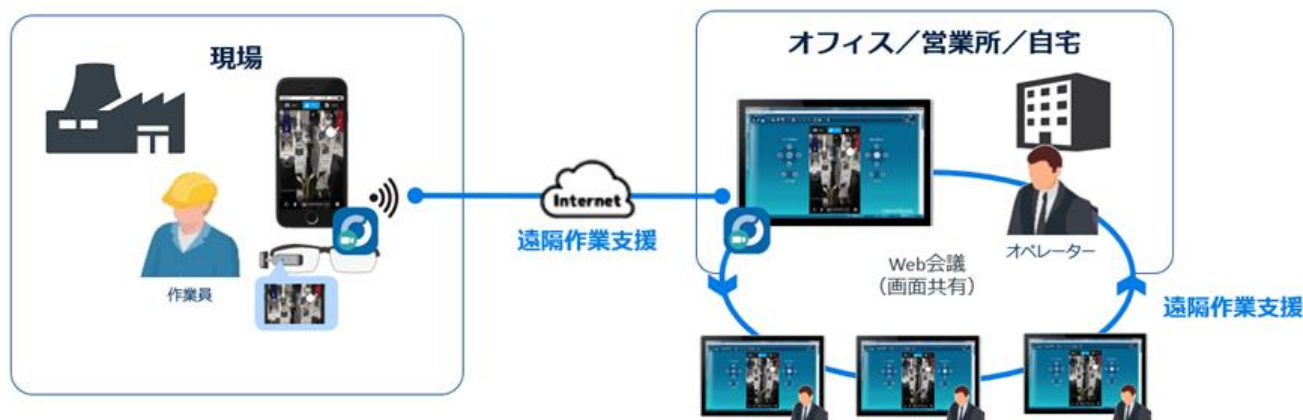
### 今回のアップデートによる追加機能

- 「コミュニケーションサポート」用チャットボットを各プラットフォーム向けに追加
- 従業員の体調不良報告、休暇通知の表示機能
- アプリケーション利用状況等をもとにした、業務時間分類機能の追加

2020.09.15プレスリリース

## 遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」、Zoom、Microsoft Teamsとの連携機能提供を発表

～Web会議システムを使った、複数人での同時確認・指示出しが可能に～



## 「Optimal Second Sight」海外利用における本格展開を開始

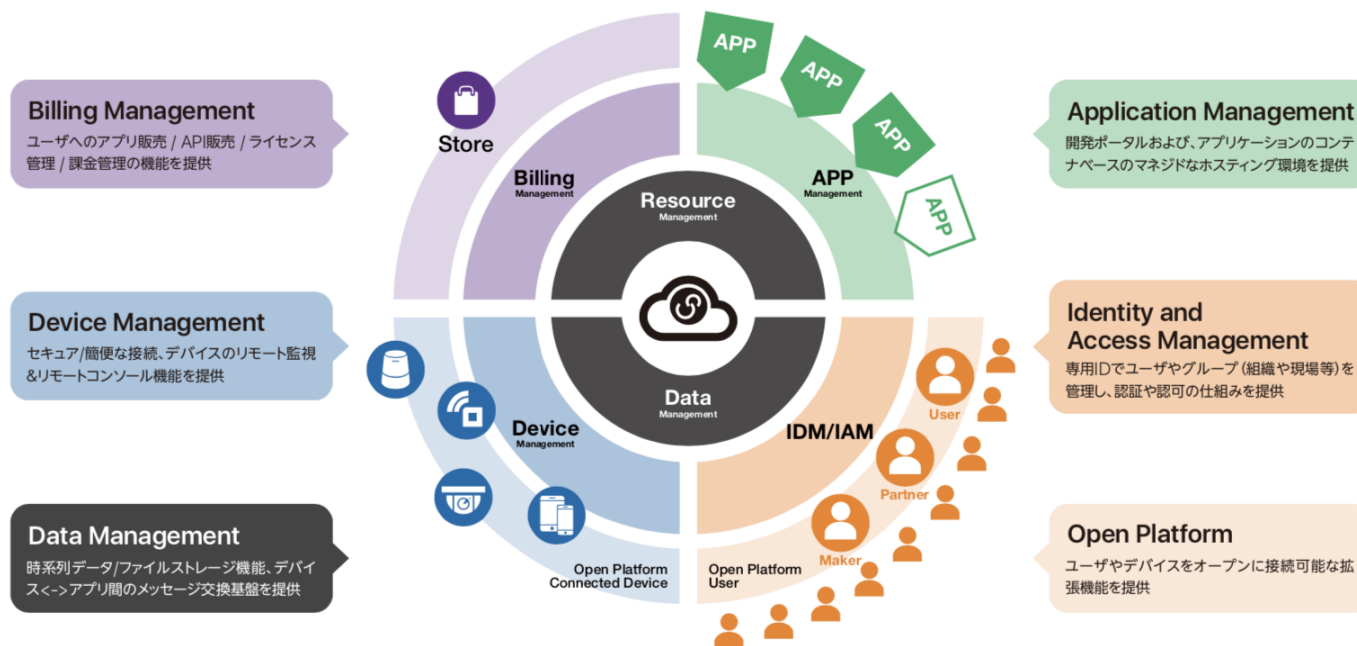
～SBクラウドと営業活動連携について基本合意書を締結～

SBクラウドが展開するAlibaba Cloudの国際専用線サービス「Cloud Enterprise Network」を組み合わせることで営業活動を行い、海外における「Optimal Second Sight」の本格的な展開を開始

2020.10.23 2020.10.26プレスリリース

## AI・IoTプラットフォームサービス 「OPTiM Cloud IoT OS」無償トライアル提供開始

～同時に最新バージョンアップにより企業認証基盤連携機能などをリリース～



## プラットフォーマーのためのプラットフォーム

2020.08.20プレスリリース

## 「OPTiM AI Camera」の新ラインアップを発表

～「withコロナソリューション」で店舗・施設の運営を強かにサポート～

- 「OPTiM AI Camera」ラインアップのAI画像解析サービス名称を変更

- 「OPTiM AI Camera」ラインアップにAI統合運用環境サービスを追加

低価格で簡単に利用可能な「OPTiM AI Camera Lite」を「OPTiM AI Camera」としてオプティムのAI画像解析のメインサービスに

**OPTiM AI Camera Lite**

月額2,980円（税抜）～



**OPTiM AI Camera**

月額2,980円（税抜）～

**OPTiM AI Camera**

月額15,000円（税抜）～



**OPTiM AI Camera Enterprise**

月額15,000円（税抜）～

**OPTiM AI Camera Mobile**

月額1,950円（税込）

※「OPTiM AI Camera Mobile」は名称変更いたしません

AIモデル作成 **OPTiM AI Camera Creator**



- ・ ユーザー自身で画像認識モデルの作成・精度向上が可能
- ・ 画像認識用のデータ・プロジェクトを一括管理

**OPTiM AI Camera Creator**

**OPTiM AI Camera**

**OPTiM AI Camera Edge**

**OPTiM AI App Store**

基盤、附帯機能群  
IDMなど

AIモデル解析 **OPTiM AI Camera Edge**



環境解析ニーズに合わせて自由に選択可能

AIモデル配信 **OPTiM AI App Store**



作成したAI画像認識モデルを配信・アップデート

2020.10.26プレスリリース

## 「OPTiM AI Camera」のWithコロナソリューションを利用開始

～KDDI株式会社と株式会社京都パープルサンガが提供する「京都サンガF.C.」アプリでリアルタイムに混雑状況をお知らせし、より安心・安全なサッカー観戦体験の実現に寄与～



<周辺マップ選択画面 イメージ>



<混雑状況確認画面 イメージ>



クラウド上で画像解析



ライブ画像の人物を匿名化  
アプリやWebサイト、サイネージに表示可能



2020.10.21プレスリリース

# AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「スマート米2021」、 2020年度産新米の販売を開始

## スマート米2021

(2020年度産新米)

とっても体にやさしい  
お米できました。

特別栽培米

残留農薬不検出

節減対象農薬50%以下

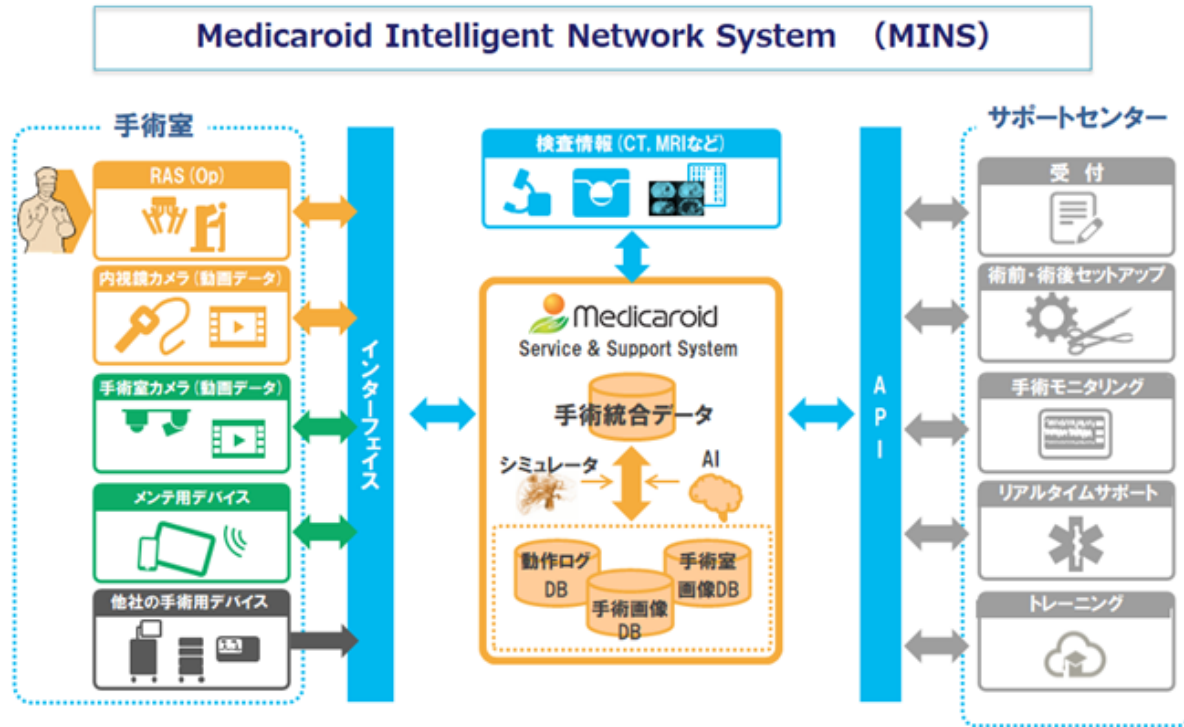


新たに兵庫県産「コシヒカリ」、石川県産「コシヒカリ」、  
福島県産「コシヒカリ」・「天のつぶ」をラインアップに追加、  
「ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー」により、残留農薬検査不検出を実現

2020.10.22プレスリリース

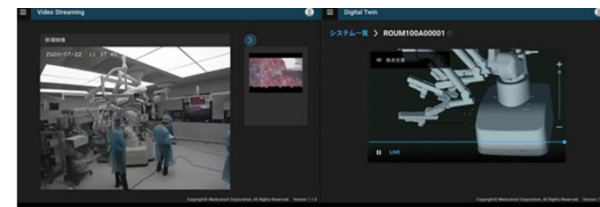
# 手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」用 ネットワークサポートシステム「MINS (Medicaroid Intelligent Network System)」 を共同開発

～手術支援ロボットから得られるあらゆるデータを AI が解析可能に～



MINSでは第一弾のサービスとして以下のリモートサポートを提供します。

1. ログデータの収集・蓄積
2. 映像配信・閲覧
3. ロボットの動きを再現

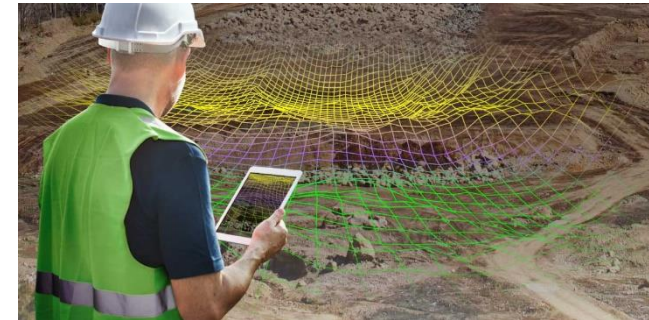
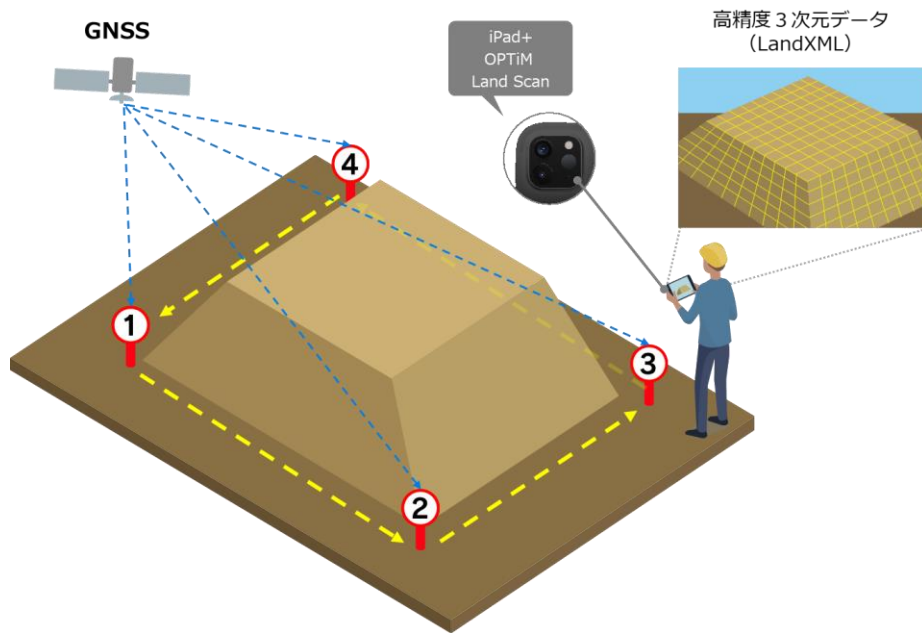


2020.10.26プレスリリース



# 世界初、iPad Proを使って誰でも簡単に 高精度3次元測量ができるアプリ、 「OPTiM Land Scan」β版の無償提供開始

～測量時間の短縮や人件費の削減、技術者不足問題を解決～



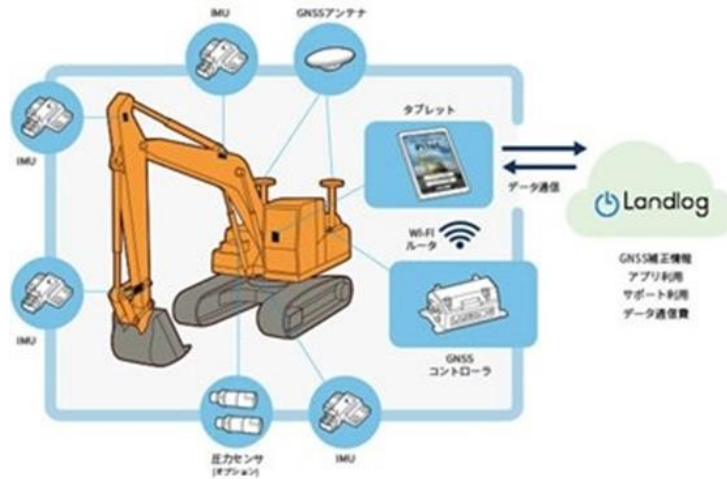
## 「OPTiM Land Scan」の特長

1. 一人で手軽に測量が可能
2. 測量業務の短縮が可能
3. 誰でも高精度な測量が可能
4. ICT土工の実現

2020.08.03プレスリリース  
(※特許出願中)

# スマートコンストラクション・レトロフィットキットや AI・IoTを活用した建設向けDXソリューションのマーケティングを行う 「株式会社ランドログマーケティング」を設立

～測量時間の短縮や人件費の削減、技術者不足問題を解決～



■ 「スマートコンストラクション・レトロフィットキット」



■ 「スマートコンストラクション・ローバー」

## 事業内容

- 建設生産プロセスの生産性を向上させる最新のデジタルデバイス・ソリューションの提供
- 建設DXに関する総合商社機能の提供
- 建設DXに関するコンサルティングサービスの提供
- その他、建設業界の発展・貢献に必要なAI・IoTサービスの提供

2020.10.27プレスリリース

# OPTiM® 佐賀銀行

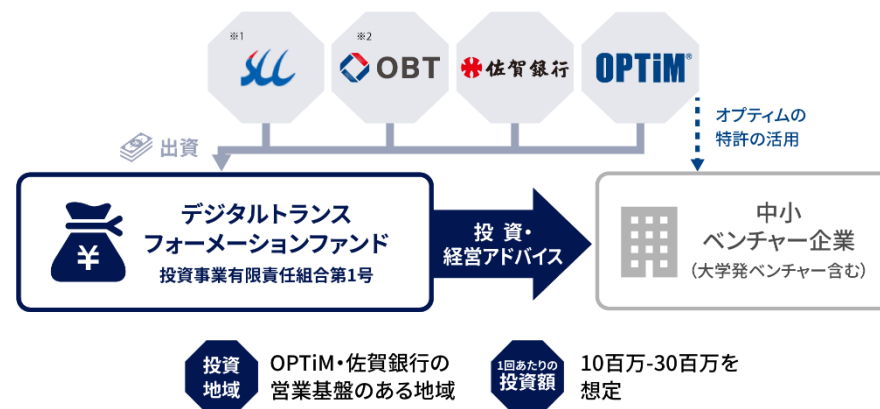
## 佐賀銀行と地銀・地域DX等を推進する、合併会社「オプティム・バンクテクノロジーズ株式会社」の事業開始

### <事業内容>

1. 地銀DX：金融ソリューションなどを開発し、全国の金融機関などへ販売
2. 地域DX：オプティムのAI・IoTソリューションやサービスの販売
3. 教育事業：AI・IoTを活用した人材教育（マネジメント・起業家教育を含む）
4. ファンド事業：  
オプティムが保有する知的財産を活用した起業支援および、オプティムの各種プラットフォームを活用したアプリケーション開発企業支援などのためのファンド運営

## オプティムと佐賀銀行、DXファンドを設立

企業への出資を通じて各業界のデジタルトランスフォーメーションの推進へ



※1 SBC株式会社佐賀キャピタル&コンサルティング  
※2 OBT:オプティム・バンクテクノロジーズ株式会社

2020.07.27, 2020.09.28プレスリリース

## 「OPTiM Innovation2020」を開催

～今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためAI・IoTができること～  
2020年10月26日（月）～27日（火）、オンラインにて開催



「OPTiM INNOVATION 2020」は、すぐにビジネス活用できるAI・IoTソリューションや、AI・IoTの最新活用事例などを紹介する2日間のオンラインイベントです。今般の新型コロナウイルスの影響により冷え込んでいるさまざまな分野の経済活動を活性化させるべく、本年は「今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためにAI・IoTができること」をテーマとしてお届けします。

2020.10.01プレスリリース

## サーモグラフィーと「OPTiM AI Camera」を利用した健康状態チェックシステム

特許番号：6618631（日本）

### 来訪者の健康チェック

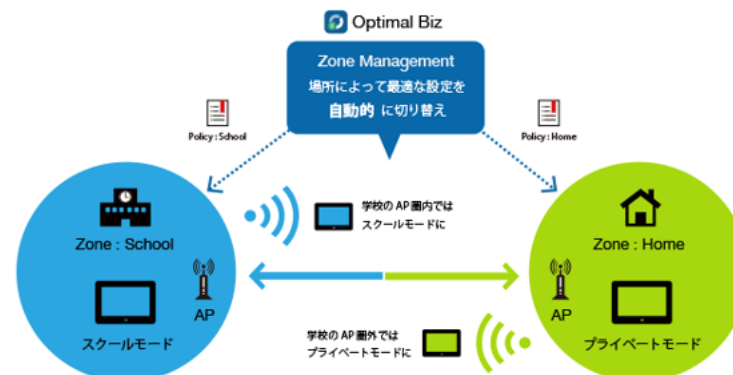


来訪者検出、体温測定 室温測定

建物の入り口での、来訪者の健康チェックに利用。  
来訪者の体温を赤外線画像で測定して、健康状態を判定し、異常が疑われる人を検出。

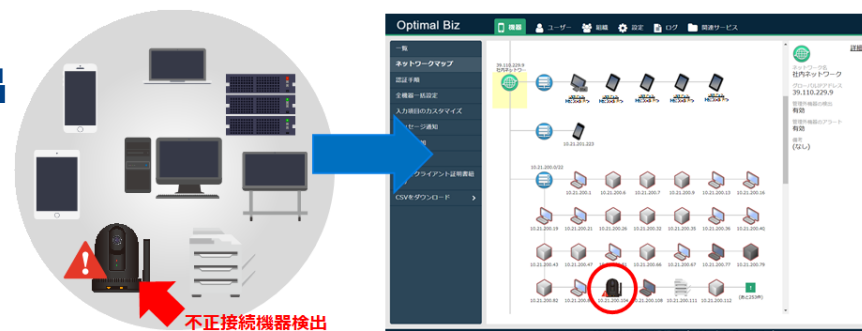
## 文部科学省推進の「GIGAスクール構想」と、特許技術「Zone Management」搭載サービス「Optimal Biz」について

特許番号：4914414、5976033（日本）／9462620（米国）／105025435（中国）



## PCやIoT機器などのネットワーク接続機器を検出 Optimal Biz搭載特許、Tigerについて

特許番号：4855499（日本）、8301625（米）、2330512（仏・独・西・英）、10-1209014（韓）、102160042（中）



2020.04.28, 2020.08.06, 2020.09.29 IPインフォメーション

## 医療業界のデジタルトランスフォーメーションをテーマとした医療メディア

(メディカルディーエックス)



**MEDICAL DX**

<https://medicaldx-jp.com/>

## 建設土木の未来をICTで変える建設土木メディア



<https://digital-construction.jp/>

AIの導入事例や導入効果の評価などリアルな声を発信、  
AIを用いたビジネス変革をサポートするメディア



**AI Start Lab**

<https://ai-start-lab.com/>

